

- 問1 太平洋を取り囲むように連なり、世界的に見ても地震の発生や火山活動が特に活発な地域を何と呼びますか。最も適切な名称を選択してください。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
1. 安定陸塊 2. アルプス・ヒマラヤ造山帯 3. 環太平洋造山帯 4. 古期造山帯
- 問2 ユーラシア大陸の南南部を東西に走り、アルプス山脈やヒマラヤ山脈、チベット高原などを含む地帯があります。現在も地殻変動が活発で、標高の高い険しい山脈が形成されているこの造山帯の名称を教えてください。 (2020年 香川県公立入試 類似)
1. 安定陸塊 2. 古期造山帯 3. 環太平洋造山帯 4. アルプス・ヒマラヤ造山帯
- 問3 地球は自転によって24時間で360度回転していますが、この仕組みに基づいて経度の差から時差を求める際、1時間の時差が生じる経度の幅として正しいものはどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 経度30度 2. 経度12度 3. 経度15度 4. 経度45度
- 問4 東京を中心として、中心からの距離と方位が正しく示される地図を作成した場合、東京から等しい距離にある地点を結んだ線は図上でどのような形状になり、また東京から見た各地点の関係はどう表現されますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 高知県公立入試 類似)
1. 東京を中心とした同心円として描かれ、中心からの直線は最短経路を示す 2. 経線に沿った縦の直線として描かれ、中心からの直線は時差のない地点を示す 3. 図の周辺部ほど面積が正しくなるように調整され、中心からの直線は真東を示す 4. 赤道に平行な直線として描かれ、中心からの直線は等角航路を示す
- 問5 日本では兵庫県明石市を通る東経135度の経線を基準として全国一律の時刻が用いられていますが、世界には、国内の地域ごとに異なる時刻を定めている国があります。このように、国や地域が共通の基準として決めている時刻を何といいますか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
1. 本初子午線 2. 世界時 3. サマータイム 4. 標準時
- 問6 東京からロサンゼルスへ移動した際、現地の時刻に体が慣れず、体調をくずしてしまう「時差ぼけ」という現象が起こることがあります。この現象が起こる理由として、地理的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 北半球から南半球へと赤道を越えて移動することで、季節が逆転し自律神経のバランスが崩れるため 2. 温帯に属する日本から、寒帯に属する北米の都市へ移動することで、急激な気温の変化に体が対応できないため 3. 太平洋を横断する際に非常に標高の高い地点を長時間飛行するため、気圧の変化が身体に大きな負担をかけるため 4. 日付変更線を越えるような大幅な時差がある地域へ短時間で移動し、生活リズムと昼夜のサイクルが逆転するため
- 問7 長崎県の福江島のような山地を含む地域の地形図において、尾根と谷を判別する際の考え方について述べた文として、適切なものはどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)
1. 尾根は等高線が低い方へ張り出した部分を指し、谷は等高線が高い方へ食い込んだ部分を指す 2. 尾根は等高線の密度が高く傾斜が急な場所を指し、谷は等高線の密度が低く傾斜が緩やかな場所を指す 3. 尾根は等高線が高い方へ食い込んだ部分を指し、谷は等高線が低い方へ張り出した部分を指す 4. 尾根は標高を示す数字が書き込まれている地点を指し、谷は数字が書き込まれていない地点を指す
- 問8 日本（東経135度）とアメリカ合衆国のシカゴ（西経90度）の間には、15時間の時差が存在します。このように世界各地で時差が生じる理由と、その仕組みについて説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 地球が24時間で360度自転しているため、経度が15度異なるごとに1時間の時差が生じる仕組みになっている。 2. 日付変更線を西から東へ越える際には、時差に関係なく一律で時計を15時間戻さなければならないというルールがあるため。 3. 地球が1年かけて太陽の周りを公転しているため、緯度が15度高くなるごとに1時間の時差が生じる仕組みになっている。 4. 赤道から北極または南極へ向かって経線を15度移動するたびに、時計の針を1時間ずつ進める国際的な決まりがあるため。
- 問9 近年、アフリカなどの地域では、国内総生産（GDP）が大きく伸びるなど経済が急成長し、人口も急激に増加しています。このような状況下で、一人あたりの利用可能な水資源が著しく減少している主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 広島県公立入試 類似)
1. 産業の発展によって水資源を再利用する技術が高度化したことで、自然界から取り出す水の量が減ったため。 2. 経済成長に伴う産業の発展や人口増加により、生活用水や工業用水の需要が供給を上回るペースで増大しているため。 3. 国内総生産の増加に伴って、多くの人々が節水型の生活スタイルへと急速に変化させたため。 4. 人口の急激な増加によって、農業に従事する人々が減少し、灌漑施設の管理が行き届かなくなったため。
- 問10 日本から見て、南アメリカ大陸にある都市との時差が、ユーラシア大陸やアフリカ大陸の都市に比べて大きくなる理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。日本が東経135度を標準時としていることを踏まえて選んでください。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
1. 本初子午線（0度経線）からの距離が、日本よりも東側に大きく離れているため。 2. 赤道を挟んで日本と対称の緯度に位置しており、日付変更線に最も近いから。 3. 日本と同じ東経に位置しているが、南半球にあるため季節が逆になるから。 4. 日本との経度差が約180度に近く、地球のほぼ反対側に位置しているため。
- 問11 経線と緯線が直角に交わり、経線が等間隔で平行に引かれた地図において、地図上の横方向（緯線方向）の長さが同じであっても、示される実際の距離は緯度によって異なります。このような地図の性質について正しく述べたものはどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)
1. 本初子午線に近い地域ほど、地図上の同じ長さが示す実際の距離は長くなる。 2. 赤道に近い低緯度の地域ほど、地図上の同じ長さが示す実際の距離は長くなる。 3. 緯度に関わらず、地図上の長さが同じであれば、実際の距離はすべて等しくなる。 4. 北極や南極に近い高緯度の地域ほど、地図上の同じ長さが示す実際の距離は長くなる。
- 問12 世界の諸地域と海洋の位置関係を説明した次の記述のうち、正しいものはどれですか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
1. インド洋は、南北アメリカ大陸の東側とヨーロッパ大陸の西側に位置している。 2. 太平洋は、アフリカ大陸の西側と南北アメリカ大陸の間に位置している。 3. 大西洋は、アジア大陸の東側とオーストラリア大陸の北側に位置している。 4. インド洋は、アフリカ大陸の東側とオーストラリア大陸の西側の間に位置している。
- 問13 北アフリカに位置するエジプトの首都であり、世界地図上において北緯30度、東経30度の交点付近に位置する都市として正しいものはどれですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. キャンベラ 2. ブラジリア 3. カイロ 4. バグダッド

答え合わせ・解説

問1	答え 3 環太平洋造山帯	太平洋を囲むように分布するこの地域は、地球の表面を覆うプレートがぶつかり合う境界にあたります。そのため、地震や火山活動が非常に活発で、日本列島もその一部に含まれています。これに対し、ユーラシア大陸南部からアフリカ北部に伸びるものはアルプス・ヒマラヤ造山帯と呼ばれます。
問2	答え 4 アルプス・ヒマラヤ造山帯	ユーラシア大陸の南側に位置し、プレートの衝突によって形成された比較的新しい山脈の集まりです。環太平洋造山帯と並んで「新期造山帯」に分類され、世界最高峰のヒマラヤ山脈など、標高が高く険しい地形が続いているのが特徴です。
問3	答え 3 経度15度	地球は24時間かけて360度回転（自転）しているため、360を24で割ると、1時間あたり15度回転していることが計算できます。このため、経度が15度変化するとに1時間の時差が生じることになります。例えば、経度差が30度あれば2時間の時差、90度あれば6時間の時差となります。
問4	答え 1 東京を中心とした同心円として描かれ、中心からの直線は最短経路を示す	正距方位図法では、中心からの距離が等しい地点を結びと円形（同心円）になります。この地図の最大の特徴は、中心点（この場合は東京）から引いた直線がそのまま方位と最短距離を表す点にあります。そのため、東京から見た世界各地の正確な方向や距離を把握するのに非常に適しています。
問5	答え 4 標準時	特定の国や地域で統一して使われる時刻を標準時といいます。多くの国では国内で一つの標準時を定めていますが、東西に広大な領土を持つアメリカ、カナダ、ロシアなどは、地域ごとに異なる複数の標準時を持っています。この基準となる経線を標準時子午線と呼びます。
問6	答え 4 日付変更線を越えるような大幅な時差がある地域へ短時間で移動し、生活リズムと昼夜のサイクルが逆転するため	東京とロサンゼルスの間には約17時間の時差（サマータイム時は16時間）があり、移動の際には太平洋上の日付変更線を通過します。飛行機などで短時間のうちに経度の大きく異なる地点へ移動すると、それまで過ごしていた地域の昼夜サイクルと、現地の時刻にずれが生じます。この体内時計の乱れが、食欲不振や睡眠障害などの体調不良を引き起こす要因となります。他の選択肢にある標高や寒帯、季節の逆転などは、この両都市間の移動における主要な地理的要因ではありません。
問7	答え 1 尾根は等高線が低い方へ張り出した部分を指し、谷は等高線が高い方へ食い込んだ部分を指す	山地において標高の高い地点が連続する尾根は、地形図上では等高線が標高の低い方向へ凸状に張り出して表現されます。一方で、雨水が流れる道筋となる谷は、等高線が標高の高い方向（山側）へ入り込むように表現されます。等高線の間隔の広狭は傾斜の急峻さを表すものであり、尾根か谷かの判別とは直接関係ありません。地形図の読解では、等高線が凸状になっている向きを正確に捉えることが重要です。
問8	答え 1 地球が24時間で360度自転しているため、経度が15度異なるごとに1時間の時差が生じる仕組みになっている。	時差は地球の自転によって生じます。地球は1日（24時間）で1回転（360度）するため、 $360 \div 24 = 15$ となり、経度が15度変わるとに1時間の差が生まれます。日本（東経135度）とシカゴ（西経90度）の経度の合計は225度であり、これを15度で割ると、算出される時差は15時間となります。
問9	答え 2 経済成長に伴う産業の発展や人口増加により、生活用水や工業用水の需要が供給を上回るペースで増大しているため。	アフリカなどの新興国や発展途上国では、急激な人口増加に加え、経済成長（国内総生産の増加）に伴う産業の発展が著しく、都市部での生活用水だけでなく工場などで使われる工業用水の需要も大幅に増加しています。一方で、自然界から供給される水資源の量には限りがあるため、人口一人あたりに割り当てられる水量は相対的に減少することとなり、深刻な水不足が引き起こされています。
問10	答え 4 日本との経度差が約180度に近く、地球のほぼ反対側に位置しているため。	時差は経度の差によって決まります。日本は東経135度であり、地球の裏側にあたる経度はそこから180度離れた西経45度です。南アメリカ大陸はこの西経45度付近に位置しているため、経度差が最大となり、結果として時差も約12時間という最大の値を示します。緯度や季節は時差の計算には関係しません。
問11	答え 2 赤道に近い低緯度の地域ほど、地図上の同じ長さが示す実際の距離は長くなる。	地球は球体であるため、隣り合う経線どうしの実際の距離は赤道上で最大となり、高緯度に向かうほど狭まって、極点では0になります。しかし、経線が平行かつ等間隔に描かれる地図では、高緯度ほど実際よりも横方向に大きく引き伸ばされて表現されています。そのため、地図上で同じ1cmを測った場合、引き伸ばしがされていない（あるいは少ない）赤道に近い地域の方が、より多くの実際の距離をその1cmの中に含んでいることになり、距離の歪みが小さいといえます。
問12	答え 4 インド洋は、アフリカ大陸の東側とオーストラリア大陸の西側の間に位置している。	インド洋は、アジア大陸の南側に広がり、西はアフリカ大陸、東はオーストラリア大陸に接しています。これに対し、太平洋はアジア・オセアニアと南北アメリカの間、大西洋はヨーロッパ・アフリカと南北アメリカの間に広がっています。
問13	答え 3 カイロ	アフリカ大陸の北東部に位置するエジプトの首都カイロは、緯度と経度がともに30度という、地理を学習する上で非常に覚えやすい座標に位置しています。他の選択肢について、ブラジリアは南米のブラジル、バグダッドは中東のイラク、キャンベラはオセアニアのオーストラリアの都市であり、座標が異なります。